

令和3年度個別地域ケア会議評価シート【地域包括支援センター別】

資料2-3

No	包括名	年月日	個別/圏域	課題	分類
1	南部	R3.4.19	圏域	・独居や高齢世帯が多く、相談相手がいない ・集いの場が少ない	A
2	南部	R3.6.2 R3.7.7	個別	・認知症で身寄りのない人の金銭管理の支援介入のタイミングが困難	A
3	南部	R3.7.19	個別	・本人以外にも同時に支援が必要な対象者がおり、離れて暮らすダブルケアラーに対する支援 ・一方が施設に入居することになった場合、残された方が独居となる場合の支援体制の構築	B
4	南部	R3.7.26	圏域	・集いの場（こまき山体操）について、進んで世話役に立候補する人材がいない	B
5	南部	R3.7.28	個別	・キーパーソンとなる方の課題（血縁の遠い支援者が血縁に近い支援者の整理、施設入居に必要な身元保証調整） ・ケアマネ支援	D
6	南部	R3.8.4	個別	・認知症の進行によって、支援者の負担が大きくなることから、本人の権利擁護の視点に立ち専門職の関わり。	B
7	南部	R3.8.24	個別	・認知症の進行によって支援者の負担が増加している ・本人が地域の支援者に対し、心理的負担を感じているため、権利擁護の視点で支援方法の介入	B
8	南部	R3.9.17	個別	・身寄りに課題がある方の入院を受け入れる精神科病院へのフォロー	B
9	南部	R3.10.16	個別	・認知症の一人暮らしの方が病状進行による、地域の見守り体制づくり	A
10	南部	R3.11.19	個別	・医療、介護、福祉それぞれの制度の併用に伴う関係機関のスムーズな連携構築・ケアマネ支援	B
11	南部	R3.12.11	個別	・地域の結びつきの強さもばらつきがあり、区から脱退した人が孤立しやすい	C
12	南部	R4.3.18	個別	・障がいのある子との生活から、地域にSOSを出せない世帯の孤立への支援・ケアマネ支援	B

令和3年度個別地域ケア会議評価シート【地域包括支援センター別】

No	包括名	年月日	個別/圏域	課題	分類
1	小牧	R3.4.24	圏域	・一人暮らし登録をしていない方の把握が困難	B
2	小牧	R3.4.27	個別	・サービスの介入拒否によって近隣に迷惑が掛かっている方をどのように支援するか	D
3	小牧	R3.5.10	圏域	・新規住民やアパート住民の把握が困難 ・一人暮らし登録をしていない方の把握が困難 ・家族と同居している場合、重度化してから包括に連絡が入ることがある	B
4	小牧	R3.8.19	圏域	・災害時、安否確認まではできても誘導することまでは困難 ・避難計画に専門職の視点が必要	C
5	小牧	R3.10.15	個別	・新規住民やアパート住民の把握が困難 ・個人情報保護の権利意識から世帯状況の把握が困難 ・コロナ禍において地域の交流が減少している	B
6	小牧	R3.10.26	圏域	・民生委員、地域包括支援センターの存在や役割を知らない人がいる	C
7	小牧	R3.12.7	圏域	・若い世帯に地域の繋がりを意識してもらうことが難しい	C
8	小牧	R4.3.17	圏域	・複雑化した事例における多機関協働のコーディネーターの不在 ・精神的負担による介護支援専門員の離脱	B

令和3年度個別地域ケア会議評価シート【地域包括支援センター別】

No	包括名	年月日	個別/圏域	課題	分類
1	味岡	R3.5.21	個別	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスの介入拒否によって近隣に迷惑が掛かっている方をどのように支援するか ・セルフネグレクト 	A
2	味岡	R3.6.9	個別	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者と障がい者（知的・精神）である孫への同時支援をどのように行うか ・特定の慣れた人しか受け入れず、サービス拒否する方への対応をどうするか 	B
3	味岡	R3.6.10	圏域	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅地のため、移動販売の開催場所や住民用の駐車場の選定が困難 	B
4	味岡	R3.7.28	個別	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある本人の親亡き後の生活 ・高齢の親に依存する方に特化した自立生活支援の体制がない 	B
5	味岡	R3.8.7	圏域	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進んで買い物に苦勞している方が多い地区である ・ローソンストア100の移動販売車が1台しかない 	A
6	味岡	R3.9.25	個別	<ul style="list-style-type: none"> ・警察やスーパーの認知症への理解が乏しく支援者が責められることがある 	A
7	味岡	R3.10.11	個別	<ul style="list-style-type: none"> ・本人以外にも同時に支援が必要な対象者の出現 ・高齢の本人、障がいのある子の世帯への支援 	A
8	味岡	R3.11.2	個別	<ul style="list-style-type: none"> ・本人以外にも同時に支援が必要な対象者の出現 ・高齢の本人、障がいのある子の世帯への支援 	A
9	味岡	R4.1.27	個別	<ul style="list-style-type: none"> ・65歳以下であるため、1人暮らし登録や緊急通報システムなどの支援を受けられない 	A

令和3年度個別地域ケア会議評価シート【地域包括支援センター別】

No	包括名	年月日	個別/圏域	課題	分類
1	篠岡	R3.6.22 R3.8.16 R3.11.2 R3.11.5 R4.1.14	個別	<ul style="list-style-type: none"> ・地域において認知症や精神疾患を抱える方が増えている ・現場の従事者が「成年後見人の申し立てが必要」と判断しても医師の意見と相違することがある。 ・成年後見人が付くまでは緊急連絡先がない ・認知症の人への自己決定支援 ・地域において認知症や精神疾患を抱える方が増えている 	B
2	篠岡	R3.8.26	圏域	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者を地域で見守る体制整備が必要（チームオレンジ） ・要支援者の個別避難計画の策定を進める必要がある 	B
3	篠岡	R3.11.26	圏域	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし高齢者リストに掲載されていない人が多い。 	B
4	篠岡	R3.12.2	圏域	<ul style="list-style-type: none"> ・重層的な課題を抱える事例が増えている ・専門職による見守りと地域における緩い見守りの体制整備が必要 	B

令和3年度個別地域ケア会議評価シート【地域包括支援センター別】

No	包括名	年月日	個別/圏域	課題	分類
1	北里	R3.4.22 R3.5.10	個別	<ul style="list-style-type: none"> ・独居で身寄りがなく、成年後見制度の検討を要する ・収集癖があり、ゴミ屋敷化した借家の周囲で大量の害虫が発生し、近隣住民から苦情が殺到している ・生活保護を受給していても、金銭管理や内服管理ができず、自己の負債や未払金がある 	B
2	北里	R3.5.26	個別	<ul style="list-style-type: none"> ・アルコール依存症の病識がなく、医療機関への受診拒否がある ・アルコール依存症の環境因子である家族とは、共依存の関係にある ・同居の家族へのDV（妻・長女・母） ・同居の家族の重層的課題 (長女：5年引きこもり状態、84歳母親：中重度のアルツハイマー型認知症、妻：うつ病) ・経済的課題（妻のパート収入と84歳親の年金が主な家計費） 	B
3	北里	R3.7.20 R3.10.11	圏域	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率が非常に高く、見守り体制を作る必要がある（見守りネットワーク） ・認知症の方への理解、啓発 ・認知症予防に地域で取り組む仕組み作りが必要である（カフェ・3あい事業の展開） 	A
4	北里	R3.7.26	個別	<ul style="list-style-type: none"> ・物盗られ妄想が高じ、攻撃的言動が地域の身近な友人に向いている。 ・主介護者の長女は市外在住、平日は認認介護（同居の夫も認知症）となり、介護力が不足している ・夫は、介護サービスを受けているが、本人に強いサービス拒否や対人拒否がある 	B
5	北里	R3.8.26	個別	<ul style="list-style-type: none"> ・元妻への嫉妬妄想と常態化したストーカー行為が毎日ある。 ・指定暴力団の元組員で、近隣住民への迷惑行為があり、警察に通報されている ・天候や時間に関係なく、徘徊行為がある。 ・生活環境と人間関係の変化が相次いで起こり、認知症の進行が急激に進んでいる 	B
6	北里	R3.9.13	個別	<ul style="list-style-type: none"> ・6トンを超すゴミ屋敷で、近隣住民から頻回の苦情が寄せられている ・親族とは絶縁状態にあり、身寄りが無い ・借家やアパートの退去は今回で3度目となり、家庭裁判所から退去命令の強制執行が下されている ・統合失調症の既往があるが、医療受診の継続ができていない ・インスリン管理ができず、糖尿病の悪化から入退院を繰り返している 	B
7	北里	R3.10.27	個別	<ul style="list-style-type: none"> ・家族全員からの身体的虐待がある（慢性硬膜下血腫を起こしている） ・世帯全員に知的障害があり、重層的支援が必要（長男・次男・妻の障害手帳の取得と自立支援・就労支援） ・上記理由と本人が重度のアルツハイマー型認知症であるため、意思決定の支援が急務となる ・資産はあるが適切な家計管理や財産管理ができず、市税の滞納や介護費用の捻出が困難など経済的課題がある 	B

No	包括名	年月日	個別/圏域	課題	分類
8	北里	R3.10.12	個別	<ul style="list-style-type: none"> ・同居の長男の身体的虐待（「左眼急性緑内障」の受傷、緊急手術を施行）があり、自宅へは帰れない ・別居の次男・三男からはネグレクトを受けていて、母親を引き取る意思がない ・本人名義の資産・預貯金は全て、長男が管理をしていて経済的な虐待がある ・本人には日本脳炎の後遺障害があり、意思決定支援が必要 ・身元引き受け人が不在 	B
9	北里	R3.10.29	個別	<ul style="list-style-type: none"> ・隣家への被害妄想を誰彼となく地域住民に訴えているため、隣人は強いストレスを受けている ・認知症の診断が下りているが、治療やケアが受けられない。 ・同居の長女は統合失調症の疑いがあるが、未受診であり、長女への支援が必要 ・母娘が共に虐待されたと警察に訴え、数回パトカーが出動している ・別居の長男（うつ病）とは絶縁状態で、身上監護が受けられない ・同居の長女の経済的依存も含め、家計管理・金銭管理が難しくなっている 	B
10	北里	R4.2.22 R4.3.25	個別	<ul style="list-style-type: none"> ・身体機能の低下が進み、転倒・転落の増加、入浴時の事故リスクが高い ・身寄りなく、身元引受（入院手続き等）をしてくれる人がいない ・病識がなく、生活の見立、医療の意思決定が難しい ・物盗られ妄想やお金への執着が非常に強く日常生活自立支援事業の介入ができない。 	B
11	北里	R4.3.14	個別	<ul style="list-style-type: none"> ・内縁の夫から虐待（身体的・経済的）や不適切な介護を受けており、世帯の完全分離が必要 ・金銭管理を含め、意思決定支援を早急に整える必要がある ・激高し、反社会的言動を繰り返す内縁の夫への対応 ・介護認定上は非該当であるが、文盲で理解力低下がある内縁の夫への支援 	B